

1月11日「完了」

掲載日:2009年1月11日

1月11日「完了」

1月11日(日曜日)

10日(土曜日)の夜、中の人が夕ごはん(パン)を食べていると、

携帯電話が鳴り出しました。

中の人「もしもし?」

電話の人「もしもし、松村さまでいらっしゃいますか?」

中の人「違います。」

間違い電話でした。

でも、「松村」という苗字には聞き覚えが。

東北芸術工科大学でお世話になっているゼミ(研究室)の先生の名前です。

中の中人は東北芸術工科大学大学院・芸術工学研究科・文化財情報科学領域というなんだか難しそうなところに所属しています。

ゼミの教授(研究室の担任の先生みたいな人)は**松村茂教授**という方で、ITを使った地域振興計画なんかを研究されています。中の中人は、かれこれ6年間も松村先生にお世話になっています。

再び電話が

電話の人 「もしもし…マツム…」

中の人 「もしかしてウサギですか？」

電話の人 「そうです！修理できました！」

やっぱりか！

領収書を「松村茂研究室」で出してしまっていたため、

松村さん宛で電話がきたみたいです

(連絡先は中の人の名前だったんだけどなぁ)。

兎にも角にも、

うさひのキグルミ修理が完了とのこと

さっそく11日朝、引き取りに行くことに。

中の人 「ウサギの着ぐるみとりにきましたー」

もはやこのセリフを言うことにも慣れてきました。

人間、慣れるとなんでもできますね。

そして、気になる補修後のファスナーがこちら



すげえ、完璧だ！

ちなみにこちらが以前のファスナー



新ファスナーのほうが多少色が濃い

それにしても、この短期間でピンクのファスナーを取り寄せて、

見事な完全修理

やっぱりプロは違うなぁ

そんなこんなで、ご心配をおかけしましたが、ウサヒ完全復活です！

余談

研究室で、新・桃色うさひを眺めながら見事な修理に感心していると

ちょうど来ていた後輩が

「だったら次からは、朝日町でそういった補修ができる人をお願いして、

ウサヒが怪我(故障)をしたら治してもらう専属契約とかむすぶのどうですか？

あと、改造とかしてもらおうとか？」

……

……………確かにそれはいいかも！

というわけで、町内在住の方で、着ぐるみの補修ができる方いらっしゃったら、

ウサヒ宛にご連絡ください。

一緒に楽しい改造計画をたてましょう。

ウサヒからのお願いでした。